



2021 RACE REPORT

GAZOO Racing 86/BRZ Race 第11戦

GAZOO Racing Yaris Cup 東日本シリーズ第5戦

11月20日(土)～21日(日)

富士スピードウェイ(静岡県小山町)

86/BRZ Race プロフェッショナルシリーズ

■ ■ ■ 今シーズンの最終戦。川合選手 13 位、吉田選手 19 位 ■ ■ ■

富士大会は今シーズンの最終戦。土曜日に予選、日曜日に決勝(10周)が行われました。プロフェッショナルシリーズのエントリー台数は33台。土曜日の天候は晴。予選は14時55分から行われ、吉田選手が最初にコースイン。1回目のアタックで2分04秒357をマークしますが、走路外にはみ出しており、アタックを継続します。吉田選手のベストタイムは3回目にマークした2分04秒815。正式結果は30位で、苦しい後方スタートになりました。川合選手は予選開始5分後にコースイン。タイヤの熱入りに悩みながらも4周目に2分03秒782をマークし、4位につけますが、終盤にアタックを行ったライバルが川合選手のタイムを上回ったため、正式結果は8位。



日曜日の天候は曇。プロフェッショナルシリーズの決勝は14時25分から行われ、川合選手は順当なスタートをきるも、ギアが2速に入らずスピードダウン。そのすきに2台に抜かれ、10位で1コーナーを立ち上がります。前を走るのはスーパー耐久のチームメイト、#60 服部選手。川合選手は服部選手の前に出ようと仕掛けますが、前に出ることはできません。その後、川合選手は後続から攻め立てられる展開が続き、6周目に12位、7周目に14位、8周目に16位と後退します。それでもファイナルラップに1台抜き返し、15位でチェッカー。レース後、上位の選手にペナルティが与えられたため、川合選手の正式結果は13位となりました。また、不本意な30番グリッドから決勝にのぞんだ吉田選手は、1周目に大きくジャンプアップ。25位でホームストレートに戻ってきます。吉田選手は追撃の手を緩めず、2周目に22位、3周目に21位まで上がりますが、上位から大きく離されており、追い上げもここまで。21位でチェッカーを受けますが、川合選手と同じく順位の繰り上がりがあり、正式結果は19位となりました。

今回の結果により、川合選手の年間ランキングは6位、吉田選手は同13位で確定。川合選手の2度の表彰台、吉田選手との3度のダブル入賞など、チーム力をアピールしたシーズンとなりました。



#160 埼玉トヨペット GB 86 BS

吉田 広樹

第11戦 決勝：19位

予選30位(2分04秒815)

■予選後：走路外走行を2回連続でしてしまい、もう1回やり直して出したのがあのタイムでした。簡単にポイントを目指しますと言えないぐらい後ろからのスタートですが、一生懸命担当してくれた固定メカニックや今回参加してくれたメカニック、モータースポーツ室に対する思いがあります。追い上げるのは大変ですが、今持っているすべての力を毎周、全コーナーで出しきればと思っています。

■決勝後：暫定の着順は21位です。スタートから結構ごちゃごちゃしていたのですが、富士では第2戦の時も、走路外走行でお叱りを受けたり、ペナルティを受けたりといろいろありましたので、そこを意識しながら走りました。でも、順位が落ち着くまでの1周目は大変でした。結果を考えると予選結果がすべてだったと思います。



#521 埼玉トヨペット GB 86 BS

川合 孝汰

第11戦 決勝：13位

予選8位(2分03秒782)

■予選後：今回はレースウィークを通してタイヤの熱入りに苦労しました。予選前に他の車両のレースがあり、別のタイヤの路面になっているので、あとからアタックすると決めていました。スリップを使わず、淡々と走ったのですが、それでもタイヤに熱が入らなくて。アタックをまとめきれず、一発目に出したタイムが8番手でした。

■決勝後：暫定結果は15位です。タイヤをしっかりと温め、スタート自体は悪くなかったのですが、2速に入らず1コーナーで2台に抜かれ、そこから10番手を争っていました。前は服部さんだったのですが、なかなかチャンスをつかめず。ダンロップコーナーでインに入ったのですが、そこでも抜けませんでした。苦しい展開でペースを上げられず、最後に1台抜けたのですが、そのまま終わってしまいました。

■ 地頭所選手のプロデビュー戦は 21 位。ヤリスの大森選手は3位 ■

富士ラウンドは 86/BRZ レースとヤリスカップの併催。前戦、十勝でエキスパートシリーズのチャンピオンを決めた地頭所選手がプロフェッショナルシリーズに出場、ヤリスカップに大森選手と田中選手が出場しました。ヤリスカップのエントリー台数は 91 台。

プロフェッショナルシリーズの予選。地頭所選手は GB ドライバー、川合選手の後に続いてコースイン。初めて履くタイヤのフィーリングに戸惑いながらも、1 回目のアタックで 2 分 04 秒 252 をマーク。10 位につけます。セッション後半にアタックしたライバルが地頭所選手のタイムを上回ったため、正式結果は 22 位。悔しそうな地頭所選手ですが、デビュー戦ということを考えると 33 台中 22 位という成績は立派です。決勝では 1 周目に 2 台に抜かれ、24 位でホームストレートを通過。プロドライバーの洗礼を浴び、2 周目には 26 位まで後退します。しかし、4 周目に 23 位まで上がると、ポジションをキープしてチェッカー。正式結果は 21 位となりました。レース後、地頭所選手はオーガナイザーからルーキーオブザイヤーに選出。チャンピオンの表彰を含め、ダブルで表彰を受けました。



一方、ヤリスカップではランキングトップの大森選手が、練習走行でのトラブル克服し、予選 B 組 1 位（2 分 15 秒 558、2 番グリッド）。田中選手も自己ベスト（2 分 17 秒 818）をマークし、A 組 24 位（47 番グリッド）に。開幕戦の富士でかなわなかった決勝進出を見事に果たしました。決勝では大森選手が出遅れてしまい 3 番手に後退。さらに 1 周目に発生したアクシデントにより、セーフティカーが導入され、大森選手に不利な展開となります。6 周目からレースは再開され、大森選手はなんとか前に出ようと前の 2 台に揺さぶりをかけますが、順位を上げることができず、3 位でチェッカー。この結果により、大森選手は #61 松本選手の逆転を許し、ランキング 2 位が確定。また、2 度目の決勝進出を果たした田中選手も安定したレース運びを見せ、48 位でチェッカー。ヤリス GB キャンプの初年度を締めくくりました。



#522 GB CAMP 86

地頭所 光

第 11 戦 **決勝：21 位**

予選 22 位（2 分 04 秒 252）

■予選後：どれぐらい通用するのか試したくてプロシリーズに出場しました。タイヤがエキスパートと異なり、1 周で劇的にフィーリングが変わるので、予選アタックを決めるのが難しいです。前半のセクターでは速く、いいタイムを期待していましたが、終わって見たら 4 秒 2 で。週末のベストも更新できず、課題の残る予選でした。

■決勝後：エキスパートがレースだとしたら、プロは戦争という印象です。自分はクリーンにやりたかったので、抑えて走ったらぼこぼこ抜かれて。エキスパートでは得られない経験なので、とても良かったです。まだまだ甘かったと思うので、これからも経験値を積んでいきたいと思います。



#523 GB CAMP Yaris

大森和也

決勝 3 位

予選 B 組 1 位（2 分 15 秒 558）

2 番グリッドスタート

■予選後：昨日までのトラブルは問題なく修復されていました。アタックに出た場所も良かったのでベストタイムを更新できました。開幕戦以降、チームが努力してくれてセットアップが進み、大きくタイムアップできました。チームのみなさんのおかげです。

■決勝後：悔しいです、今日は寝られないです。タイヤが路面をくっついてしまい、回転が落ち、出遅れてしまいました。でも、スタートをのぞけば、3 台でクリーンなバトルができたので、悔いはありません。ヤリスカップを始めた時、チャンピオン争いをできるとは思っていませんでした。ヤリス GB キャンプに参加し、忘れられない 1 年になりました。



#524 GB CAMP Yaris

田中 聡

決勝 48 位

予選 A 組 24 位（2 分 17 秒 818）

47 番グリッドスタート

■予選後：川合選手から少し遅れて入った方が速いクルマに抜かれず、自分のペースで走ることができるとアドバイスをもらい、ゆっくり出ました。何台かまとまっているところに入ってしまったのですが、その一番後ろでうまくいけました。前のクルマについていったのが良かったと思います。

■決勝後：スタートで失敗して抜かれ、なんとか競っていたらセーフティカーが入って。再スタートしてからは抜かれなくて最後まで走りきりました。もう少し走りた気持ちと、ひとまずやり終えたという両方の気持ちです。レースもさることながら、チームワークについても今後に役立つ経験ができました。



1年間ご声援、ありがとうございました

PARTNERS



有限会社アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉スリーボンド株式会社

埼玉トヨペットホールディングス株式会社

埼玉トヨペットホールディングス株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーソリューション

UNDER ARMOUR®

株式会社ドーム

トヨタ モビリティパーツ株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社

ハッピーライフ彩生

株式会社ハッピーライフ彩生

BRIDGESTONE

株式会社ブリヂストン

丸和工業

丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ株式会社